

### 災害時協力協定の締結 防災訓練に参加

**鹿児島県いちき串木野支部** (支部長・古川清行)は8月22日、いちき串木野市庁舎で同市長と災害時の協力に関する協定を締結した。いちき串木野支部は毎年、市防災訓練に参加協力しており、市から市民の役に立ちたいと考えていたところであったが、このたび協定締結の運びとなった。今後は町の災害対策への協力について、町との発展に貢献していきたい。

(支部長)



田畑市長(右)と古川支部長

**帯広地方首長支部** (支部長・長谷川敏)は9月3日、音更町の防災訓練に自衛隊とともに参加した。音更町は過去、隊友会ももちろん自衛隊との協同訓練を行ったことがなかったが、昨年の台風10号災害で音更町も甚大な被害を受け、このためである。今回も、音更町から訓練参加を要請された。自衛隊は炊き出し、隊友会がアルファ米をお湯を入れてご飯を戻す支援を行った。災害時、他の組織と共に連携して地域のために役に立つよう訓練を積み重ねていきたい。

(支部長)



食事体験でアルファ米を配布

**宮城県角田支部** (支部長・川上征西)は9月3日、角田市総合防災訓練に支部長以下14名が参加した。阿武隈川の氾濫を想定した訓練であり、隊友会は、避難民の交通規制、防災トイレの設置、避難所の開設と救済物資の搬送等に協力した。

8月20日には阿武隈川河川敷の清掃を会員8名で実施した。連日の大雨で泥濘化していたが、例年実施している活動であり手際よく終了した。

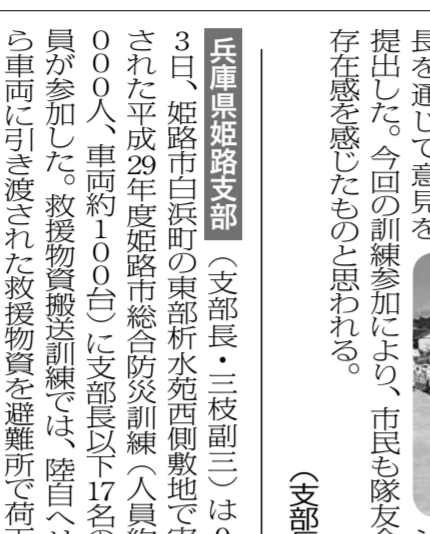
(事務局局長・瀧口隆彦)



防災訓練で交通規制

**宮城県名取支部** (支部長・片岡忠)は9月2日、支部長以下6名が名取市で行われた、9・1宮城県総合防災訓練に参加した。約60の関係機関と、地域住民1000名が参加し、宮城県沖地震を想定した訓練を実施した。隊友会は、開催会場の名取支部が参加し、救済物資輸送訓練での搬送・仕分けや炊き出し訓練に協力した。東日本大震災で大きな被害を受けた地域でもあり、真剣な訓練が行われ、関係機関等との貴重な連携を図ることができた。

(事務局局長・高橋順治)



救済物資の手渡し

**新潟県上越支部** (支部長・鈴木春雄)は9月2日、県立看護大学で実施された県総合防災訓練に参加し、防災関係機関との連携要領等を訓練し、支部の勇姿を多くの市民に展示した。訓練は、震度6の直下型地震発生を想定のも約1500名が参加。支部は救済物資輸送等を10名で支援した。会員は81歳を最年長に、戦技・戦術を最年長に現役時代に培った一糸乱れぬ連携で作業を完了し、地域住民に自衛隊OBの存在を十分に認識させた。

(広報担当・安楽久裕)



救済物資輸送受け入れ訓練

**東京都墨田支部** (支部長・大桃文知)は9月24日、錦糸公園で実施された墨田区総合防災訓練に参加した。支部は、発災直後の倒壊家屋現場より救助者を担架搬送し、医師会によるトリアージ訓練を支援した。また、第一普通科連隊の訓練参加に際しては訓練が円滑に行われるよう調整に尽力した。今後墨田区と自衛隊とのかけ橋として、区危機管理担当防災課等と協力し、より一層の防災意識の普及向上を目指したい。

(事務局局長・細川かおる)

**愛知県尾張旭支部** (支部長・藤井正範)は9月2日、支部長以下10名の会員で尾張旭市総合防災訓練に参加した。本訓練は、地域住民に各種訓練を積極的に体験させ有事に備えることを目的として実施された。市長から支部に対して訓練全般に関する安全管理、訓練実施要領等について改善意見を求められたため、災害対策室長を通じて意見を提出した。今回の訓練参加により、市民も隊友会の存在を感じたものと思われる。

(支部長)

**兵庫県姫路支部** (支部長・三枝副三)は9月3日、姫路市白浜町の東部水苑西側敷地で実施された平成29年度姫路市総合防災訓練(人員約3000人、車両約100台)に支部長以下17名の会員が参加した。救済物資搬送訓練では、陸自ヘリから車両に引き渡された救済物資を避難所まで荷下ろし、仕分けを行い、その後非常食炊き出しを支援した。本訓練には、平成25年の「姫路市大規模災害等における隊友会の協力に関する協定」締結後、毎年参加し支援している。

(事務局局長・古西真吾)

**東京都墨田支部** (支部長・大桃文知)は9月24日、錦糸公園で実施された墨田区総合防災訓練に参加した。支部は、発災直後の倒壊家屋現場より救助者を担架搬送し、医師会によるトリアージ訓練を支援した。また、第一普通科連隊の訓練参加に際しては訓練が円滑に行われるよう調整に尽力した。今後墨田区と自衛隊とのかけ橋として、区危機管理担当防災課等と協力し、より一層の防災意識の普及向上を目指したい。

(事務局局長・細川かおる)

**宮城県太白支部** (支部長・川野秀夫)は9月2日、支部長以下12名で八木山動物園からヘリランドに至る道路周辺の清掃活動を実施した。この地域は町内会等の清掃区域外のため、以前から太白支部八木山分会が月一回の定期的な清掃を実施していたが、今回は太白支部として取り組み細かくした。動物園もあって家族連れが多い地域であり、周辺地域美化のため今後も定期的に活動していく。

(支部長)

**宮城県三好支部** (支部長・小笠原治)は9月1日、タイハツスタジアムで実施された八戸市総合防災訓練に参加した。このスタジアムは、この地域が東日本大震災で津波による家屋被害が最も大きかったことから、津波から逃げ遅れた避難者の一時避難施設及び多目的運動場の複合施設として整備されたものである。会員8名は、消防隊員による被災したマイクロバスからの負傷者救出訓練及び救出後のトリアージ訓練に負傷者として参加した。

(事務局局長・楢裕行)

**礼幌地方滝川支部** (支部長・北川裕己)は「秋の全国交通安全運動」初日の9月21日、支部会員15名がお隣の「隊友ジャンパー」を着用し、市内の最も交通量の多い、国道12号線と38号線の交差点付近において、「事故防止キャンペーン」に参加、通学・通学で行き交う市民に「交通安全・事故防止の呼びかけ」を行った。

(広報幹事・割田政明)

**宮城県多賀城支部大分会** (分会長・高橋秀秋)は8月20日、小学校支援ボランティアと協力して、市立多賀城東小学校の校庭及び周辺の草刈り、樹木剪定などの清掃活動を実施した。二学期を迎えるこの時期の清掃活動は毎年恒例の活動で、学校側からの感謝もあり、子供たちの就学環境整備の一助として今後も継続していく。

(事務局局長・加賀賢一)

**福岡県久留米支部** (支部長・黒木忠夫)は9月6日、陸自幹校98、53MD及び981課程(前段)205名の卒業式に隊友会福岡・佐賀県会長とともに、ほとんども会員等多くの会員が参加した。学長から一部隊の即戦力として活躍しようとする隊員等への訓示があり、歩武堂々の観閲行進に拍手が沸き、職員やほとんども会員等に見送られ原隊へと旅立った。(ほとんども会員「2度と久留米」という言葉を払拭すべし、番匠元校長時に発足した候補生葉の「おもてなし」(築後地域のこと)を、ほとんども(き)をすべし)と市民有志の集まり。

(支部長)

**宮城県大河原支部** (支部長・瀬戸剛)は8月6日、支部長以下6名の会員で岩見沢神社境内に祀られている旧日本海軍の鎮魂の碑「錨」(大湊基地から当神社に鎮魂の碑として奉納)と隣接する「忠魂碑」(日露戦争の英霊を顕彰)の参拝と清掃を行った。鎮魂の碑「錨」への参拝は、海自OB会「岩見沢海友会」の会員の高齢化のため、隊友会が平成27年から代行しているものである。

(副支部長・高柳敬光)

**宮城県七ヶ浜支部** (支部長・海老澤方宏)は8月28日、支部長以下9名で仙台製油所を見学した。この製油所は東日本大震災時に6m以上の津波に襲われ、原油輸送船の係留作業中の所員4名が犠牲になり、また火災も発生し自衛隊ヘリなどの支援を受けて鎮火させたことなどであった。ここでは原油からナフサ・軽油等の石油製品を製造出荷している。防災・防火等について多くを学び有意義な見学であった。

(副支部長・相内勝則)

**宮城県三好支部** (支部長・小笠原治)は9月1日、タイハツスタジアムで実施された八戸市総合防災訓練に参加した。このスタジアムは、この地域が東日本大震災で津波による家屋被害が最も大きかったことから、津波から逃げ遅れた避難者の一時避難施設及び多目的運動場の複合施設として整備されたものである。会員8名は、消防隊員による被災したマイクロバスからの負傷者救出訓練及び救出後のトリアージ訓練に負傷者として参加した。

(事務局局長・楢裕行)

**香川県丸亀支部** (支部長・大西邦彦)は9月13日、支部長自ら平成30年度定年退官予定者19名に対し、自衛隊の援護教育の場を活用して県隊友会の意義、組織及び活動の概要等について説明した。また、自らの隊友会活動を通じて体験談等を話し、自衛隊OBとしての絆を大事にし、「国民と自衛隊とのかけ橋」として地域社会に役立つ活動と共にしようとする退官後の隊友会入会を奨励した。

(事務局局長・荒谷直政)

**宮城県中津支部** (支部長・三上知彦)は9月10日、三沢基地で開催された「平成29年度三沢基地航空祭」に会員・家族等9名が参加し、日本の空の守りについて再認識するとともに同行した弘前市防衛協会会員との交流を図った。この見学は、例年弘前市防衛協会主催の行事に参加する形で計画され、防衛協会会員を含め35名が参加した。F15戦闘機やP3Cの見学及びブルーインパルの曲芸飛行等を楽しみ観戦を深めた。

(事務局局長・永井達雄)

**宮城県三好支部** (支部長・小笠原治)は9月1日、タイハツスタジアムで実施された八戸市総合防災訓練に参加した。このスタジアムは、この地域が東日本大震災で津波による家屋被害が最も大きかったことから、津波から逃げ遅れた避難者の一時避難施設及び多目的運動場の複合施設として整備されたものである。会員8名は、消防隊員による被災したマイクロバスからの負傷者救出訓練及び救出後のトリアージ訓練に負傷者として参加した。

(事務局局長・楢裕行)

**宮城県三好支部** (支部長・小笠原治)は9月1日、タイハツスタジアムで実施された八戸市総合防災訓練に参加した。このスタジアムは、この地域が東日本大震災で津波による家屋被害が最も大きかったことから、津波から逃げ遅れた避難者の一時避難施設及び多目的運動場の複合施設として整備されたものである。会員8名は、消防隊員による被災したマイクロバスからの負傷者救出訓練及び救出後のトリアージ訓練に負傷者として参加した。

(事務局局長・楢裕行)

### 地域社会協力活動

### 自衛隊諸業務の支援

### 慰霊・顕彰等

### 研修活動

### 研修活動

**宮城県三好支部** (支部長・小笠原治)は9月1日、タイハツスタジアムで実施された八戸市総合防災訓練に参加した。このスタジアムは、この地域が東日本大震災で津波による家屋被害が最も大きかったことから、津波から逃げ遅れた避難者の一時避難施設及び多目的運動場の複合施設として整備されたものである。会員8名は、消防隊員による被災したマイクロバスからの負傷者救出訓練及び救出後のトリアージ訓練に負傷者として参加した。

(事務局局長・楢裕行)

**宮城県三好支部** (支部長・小笠原治)は9月1日、タイハツスタジアムで実施された八戸市総合防災訓練に参加した。このスタジアムは、この地域が東日本大震災で津波による家屋被害が最も大きかったことから、津波から逃げ遅れた避難者の一時避難施設及び多目的運動場の複合施設として整備されたものである。会員8名は、消防隊員による被災したマイクロバスからの負傷者救出訓練及び救出後のトリアージ訓練に負傷者として参加した。

(事務局局長・楢裕行)

**宮城県三好支部** (支部長・小笠原治)は9月1日、タイハツスタジアムで実施された八戸市総合防災訓練に参加した。このスタジアムは、この地域が東日本大震災で津波による家屋被害が最も大きかったことから、津波から逃げ遅れた避難者の一時避難施設及び多目的運動場の複合施設として整備されたものである。会員8名は、消防隊員による被災したマイクロバスからの負傷者救出訓練及び救出後のトリアージ訓練に負傷者として参加した。

(事務局局長・楢裕行)

**宮城県三好支部** (支部長・小笠原治)は9月1日、タイハツスタジアムで実施された八戸市総合防災訓練に参加した。このスタジアムは、この地域が東日本大震災で津波による家屋被害が最も大きかったことから、津波から逃げ遅れた避難者の一時避難施設及び多目的運動場の複合施設として整備されたものである。会員8名は、消防隊員による被災したマイクロバスからの負傷者救出訓練及び救出後のトリアージ訓練に負傷者として参加した。

(事務局局長・楢裕行)

**宮城県三好支部** (支部長・小笠原治)は9月1日、タイハツスタジアムで実施された八戸市総合防災訓練に参加した。このスタジアムは、この地域が東日本大震災で津波による家屋被害が最も大きかったことから、津波から逃げ遅れた避難者の一時避難施設及び多目的運動場の複合施設として整備されたものである。会員8名は、消防隊員による被災したマイクロバスからの負傷者救出訓練及び救出後のトリアージ訓練に負傷者として参加した。

(事務局局長・楢裕行)

